

県都魅力度アップ推進ワーキンググループ キックオフミーティング

日時：令和５年８月２１日（月）１０時３０分～１１時４０分

出席者：資料１のとおり（欠席：上田企画政策部副部長（市）、青木財政部副部長（市））

議事録：

○開会挨拶 【県 村上政策監補】
【徳島市 折野副市長】

○自己紹介

○情報共有
資料２～７について、【県 村上政策監補】から説明

資料８について、【徳島市 折野副市長】から説明

○意見交換

【県 木野内次長】

それでは、ただ今の資料説明について、また、その他も含めまして、ご意見、ご質問等がございましたら発言をお願いします。

【県 加藤統括監】

中心市街地活性化の中で、私も長らく新ホールの整備について、徳島市の皆さんにご協力いただきながら、進めてきたということがございます。主要事業に入るような、やはりその中でも中心になる事業かと思えます。今ご存知のとおり、これまで進めてきた新ホールではございますが、その中で、例えば建設資材の高騰といったことも含め、状況の変化ということから、再度県民に意見を問うということで、先週より県でアンケートを開始しております。そちらの方でも、中心市街地の活性化に向けての考え方のあたりも、少し項目としても入れさせていただいて、進めさせていただいているところではございます。また、県民の方からの意見をもとに、再度検証、県としても、また、徳島市さんとも意見交換しながら、新ホールのあり方いうところをぜひ、早急にと言うところで、この点、知事からも申し上げているとおり、ぜひ早く進めていきたいと。その中でも今一度、立ち止まって再検討して、推進ということにさせていただいておりますので、今後とも引き続き、よろしくお願いいたします。

実は、新ホール以外の文化でも、色々これまでも取り組んでいることがございます。こ

の主要事業の中でも、ひょうたん島周遊船の関係、文化庁の事業で、文化観光という事業がございまして、数年前から県としても文化観光の計画を立てて、文化庁の国庫補助も活用しながら進めているんですけども、その事業の概要が、文化に関する施設をリニューアルして磨き上げて、観光につなげていくんだと、簡単に言うと、そういった事業でございまして、徳島県ご存知の通り、地域としていろいろ、人形浄瑠璃、阿波踊り、阿波藍というところで進めていておりますので、そのうち特に阿波踊りに関してはですね。阿波おどり会館というところがございまして、その施設の磨き上げというところで、徳島市さんにもご協力いただきながら、文化の観光といったこととしております。ある意味、この今回のワーキンググループのはしりのような取り組みかと思いますが、そういった議論を通じて、ぜひ、中心市街地で、特に私の担当としては文化・スポーツというところでございまして、そういったコンテンツも有効活用しながら進めて行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【市 折野副市長】

ありがとうございました。新ホールの建設につきまして、精力的に取り組んでおられることに、改めて敬意を表させていただきます。徳島市といたしましても、先ほども申し上げましたが、中央公民館の解体であったりとか、下水管の移転等の工事も、随時着々と進めているところでございまして、1つお願いしたいのは、いろんな情報提供を、ぜひ速やかに我々にいただければというふうに思っておりますので、このワーキングの中で、積極的に協議して参りたいと思います。

それから、2つ目の阿波おどり会館については、また、いろいろ協議をさせていただきながらしたいと思っておりますので、この点についてもどうぞよろしくお願いいたします。

【市 浦経済部長】

徳島市の宿泊者数の増加に向けた取り組みについて、説明させていただきます。阿波踊り期間中だけでなく、通年型の観光客誘客を図るために、平成30年には県東部15市町のマーケティングをマネジメントする、イーストとくしま観光推進機構を設立いたしまして、観光コンテンツの発掘、磨きあげ、プロモーション等に取り組んでいるところでございます。

今回の取り組みとしまして、観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」への申請を行いまして、昨年度に引き続きまして、「徳島市中心市街地エリア」の地域計画が採択されたところでございます。各事業者につきましては、今後、宿泊施設の高付加価値化改修、観光施設の改修ということですが、具体的にはカードキーの導入、大浴場と露天風呂の整備、外国人観光客も使いやすい和室の改修、閉館した宿泊施設の再オープンに向けた改修、老朽化したホテルの大規模改修等に取り組んでいくことになっております。以上でございます。

【県 東條統括監】

先ほど「イーストとくしま推進機構」について徳島市さんも積極的に取り組んでいただきまして、誠にありがとうございます。県としてもしっかりと支援していきたいというふ

うに思っています。

話の出ました観光客につきまして、補足的に発言をさせていただきたいと思います。観光誘客の推進につきましては、観光資源のブラッシュアップが必要です。それと合わせて、宿泊施設の新増設になりますとか、あるいはイノベーション等の環境整備について、この二つが重要だというふうに考えております。資料にもございましたが、徳島市さんにおきましても、さまざまな宿泊施設が補助金を活用して取り組んでいただいているとことでございます。県におきましては、今後、そういったことだけでなく、宿泊キャパシティの拡大でありますとか、あるいはその施設自体が魅力を持つような宿泊施設の誘致にも力を入れて行きたいと考えております。宿泊施設の誘致にあたりまして、立地可能性を検討を、環境面とかそういうところでありまして、徳島市さんとも情報共有させていただきまして、協議できればというふうに考えておりますので、ぜひとも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【市 森都市建設部長】

すみません、質問させていただいてよろしいですか。

我々のところという話でもないんですけど、いろんなワーキンググループでテーマが設けられておりますけど、これをどういうふうに進めていくか、スケジュール感とか、やり方とか色々テーマもあるんですけど、やっぱり優先順位もあるかなと思ってまして、アリーナとかホールとか、そういうところで、先に決めていただかないと。私どもの関係するところと言うと、北口の話ですとか、動物公園跡地の使いかたとか、そのあたりも、アリーナに絡むので。もしそれをすすめるのであれば、そこにある施設移転の話もあると思うので、やっぱり進め方の順番っていうのもあるかなっていう感じもしてまして。今すぐでなくてもいいんですけど、そのあたりを県で整理していただいて、順番付けとか、会議の進め方とか会議にかけていただけるのか、どういう形でワーキングが始まっていくのか、そのあたり、考え方があれば聞かせていただきたいなと思います。

【県 村上政策監補】

ありがとうございます。おっしゃるとおりですね。どっかにもものを作ろうとしたときに、既存施設との関係が問題になる場合があると思います。それに双方に関係して、これは、ここ移転して、これ作ってみたいな整理が必要になってくるんだらうと思います。そういう意味では、このワーキンググループのテーマの中ですね。それぞれ関連しているものと、あるいはそうでないものを、いろいろ混ざってると思います。例えば、ホテルの誘客みたいな話であれば、特に既存施設とかあんまり関係なかったりするわけでしょうし、グルメコンテンツとか、街歩きみたいなものは関係なかったりするわけで、そこは整理しながらやっていくということではありますが、これ自体はですね。ワーキンググループで実務者同士の協議するプラットフォームでありますので、本日キックミーティングということで、こうやって集まっていただきました。今後、メインになってくるのは、実務者間での協議調整になってくるかなと思っております。その中で、具体的な成案がいつあるのかというのは、テーマによって異なってくるかなと思っております。一方で、それぞれ議会9月議会とか11月議会とかありますので、そこら辺も念頭に置きながら、それぞれ整理し

ていって、成案が得られ次第、先ほど冒頭申し上げたとおり、議会に対しても説明していくというような形になろうかなと思っております。そういう意味で、いつまでにというのは、そのような議会のスケジュールも考えながら、協議調整の状況によって異なってくるというのが、率直なところかなと思っております。

【県 阿部次長】

政策創造部の阿部でございます。先ほど、大阪関西万博、2025年に開幕ということで、それに向けての取り組みということで、県を挙げて、徳島県側でもですね、夢洲でのパビリオン会場に加えて、徳島県内でもパビリオンと見立ててですね。約3000万人のお客様が2025年の4月から10月までの間に、夢洲の会場にお越しになるということです。その機会、もしくはその後の機会も含めてですね。徳島を知ってもらって、徳島に来てもらおうということで、受け皿となる、そのパビリオンの作り込みをしていこうということで、今、徳島市さんにもお声掛けをして、また、「イーストとくしま」からも、いろんなアイデアが来ているところです。やはりその通年型観光ということでありますと、当然、阿波踊りをキラーコンテンツとして、世界に向けて阿波踊りを知ってもらって、徳島に来ていただく、日本に来ていただくっていうことをやっていく。それ以外のコンテンツにつきましても、八十八ヶ所霊場でありますとか、浄瑠璃、クルーズでありますとかですね。種を作っていくということと、作り込んでいくということが必要なかなと思っております。「イーストとくしま」であるとか、実務者レベルで、いろいろその辺の作り込みというブラッシュアップの作業をしておるんですけども、やはり、八十八ヶ所というのです。大きな世界からお客様を迎えするという素晴らしいコンテンツということだと思います。徳島市内にもですね。5か所のお寺があります。私も改めて一回まわってみたんですけども、海外のお客様も来られましたが、これから万博を契機にして、お遍路さんを知ってもらって、来てもらう。もしくはその発信をもとに、もっともっと広がっていくっていうことで言いますと、やはり多言語対応はじめ、いろいろ課題があるというのを改めて認識したところでもございます。万博に向けてという切り口で、通年型観光を、というコンテンツの作り込みにつきましても、実務担当の方も交えまして、強化をしていけばいいのかなというふうに思っています。当然、DMOでありますとか、観光協会でありますとか、関係団体の皆さんにも実務レベルで入ってもらうような形で、そうした作業が進めていけばいいのかな、ありがたいかなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【県 岡本次長】

情報提供といいますか、ご報告させていただければと思います。本県におきましては、官民一体となって、これまでもスポーツツーリズムであるとか、スポーツ合宿を進めてきたところでございます。それで、今年度になりまして、県民の皆様に、本物を見ていただくという知事の熱い思いのもと、まずはということで、プロバスケットボールのB1チームである「三遠ネオフェニックス」のキャンプ誘致をこれまで進めておりまして、今月末から5日間の日程で、こちらの方にきていただけるということになりました。それで8月31日には今年度からBリーグに参戦致します「徳島ガンバロウズ」とのエキシビジョンマ

ッチも予定しておりまして、皆様、お時間等ございましたら、本物の迫力を体感いただければなと。是非ともご覧いただいとと考えております。ただ一点、こうしたトッププロチームのキャンプであるとか、あと全国規模のスポーツ大会誘致するにあたりまして、相手方から宿泊施設は、会場から何分以内というような制約がつくことが多々ありまして、調整に苦慮することがある状況でございます。こうした場合、今回のワーキンググループというのは、県全体として面的な施設整備の戦略の必要性というのを痛感しているところでございまして、こうした今回のワーキンググループを通じまして、この辺もしっかり議論していければというように考えております。

アリーナ整備につきましても、アリーナ単体の施設機能というのではなくて、それに付随するさまざまな施設整備、諸条件も検討のうえで、これから検討していく必要があるかなというふうにお考えておりますので、今後ともご支援ご協力の方、よろしくお願いいたします。

【県 神原次長】

県土整備部神原でございます。先週の金曜日、知事の方から記者会見の方で発表させていただいた項目ではあるんですが、この秋にまた、スターラックス航空により、台湾から飛行機が飛んでくるということでございます。その時にですね。春の時には喜んでいただいたのが、ゆるキャラのおもてなしの部分でありますとか、宿泊施設で、徳島に泊まりたかったなというような声も多く頂いておりますので、この辺りは知事の方は、前広にといいますか、まだ調整中ではありますが、早めに発表しましたので、色々おもてなしの準備ができるかと思うんですけれども、例えばですね、空港のある地元松茂町さんでは、ゆるキャラを提供していただいたりとかしてですね。もう町全体でおもてなしと、県としても、すだちくん出したりとかして喜んでいただいているところもありますので、徳島市さん、「イーストとくしま」かもわかりませんが、空港でのお出迎えとかお見送りとか。またその市内のイベントとかも色々お願いしたいなと思っています。それと、誘致活動する中では、イベントをできるだけはやく提供してほしいと、早く知っていればツアー組めたのにと、数か月前からツアー組んでいますので、色々なイベントの日程が決まっていればですね。それをめがけて来て頂けるということもありますので、国際路線を見据えた戦略の構築という課題の中でですね。いろいろ議論していただければ、飛行機を誘致する県土整備としてもありがたいと思っております。よろしくお願いします。

【県 村上政策監補】

もう時間もすみません。過ぎてしまいましたが、活発な議論、誠にありがとうございます。検討魅力度アップは喫緊の課題であると思います。先ほど、これからのインバウンドの時代の中でですね。県外からどれだけ人を引っ張って来れるか、魅力で引きつけられるかということなのかと思っています。徳島県は阿波踊りというキラコンテンツありますので、その最大限の活用とか、人形浄瑠璃だとか、ひょうたん島クルーズとか、極めて潜在力の高い観光資源が、まだまだあるというふうに思っております。このワーキンググループの中で、県がやるべきこと、市がやるべきこと、それぞれ協議しながらですね。時に緊張感もあるかもしれませんが、うまく連携してですね。より良い県都をつくっ

ていければと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

【県 木野内次長】

それではよろしいでしょうか。以上をもちまして、県都魅力度アップ推進ワーキンググループのキックオフミーティングを閉じたいと思います。今後は徳島県、徳島市の各部局の皆さんが中心となって具体的な政策協議を進めていただければと思います。改めて連絡先の交換していただければと思います。また、それぞれ進捗状況につきましては、村上政策監補、折野副市長の方にご報告をいただければと思います。どうもありがとうございます。

以上